

総務常任委員会議案審査報告書

- 1. 第 75 号議案 町田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 1. 第 76 号議案 町田市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 1. 第 77 号議案 町田市手数料条例の一部を改正する条例
- 1. 第 81 号議案 町田市原町田一丁目自動車駐車場に関する条例を廃止する等の条例
- 1. 第 82 号議案 町田市議会議員及び町田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
- 1. 第 84 号議案 小山市民センター空気調和設備改修工事請負契約
- 1. 第 85 号議案 小山市民センター電気設備改修工事請負契約
- 1. 第 86 号議案 生涯学習センター機械設備改修工事請負契約の変更契約
- 1. 第 96 号議案 町田市文化交流センターの指定管理者の指定について
- 1. 第 68 号議案 令和7年度（2025年度）町田市一般会計補正予算（第3号）

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

- 1. 認定第 1 号 令和6年度（2024年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳入）

- （1）入湯税は予算現額より収入済額が多くなっており、不納欠損、収入未済額が1円も生じていないことを鑑み、その他の業種の法人市民税でも不納欠損、収入未済額の減少に努められたい。
- （2）権限の移譲、もしくは返還について、市民生活の利便性向上や財政的な負担の軽減についての視点での取り組みをより進めるために、他自治体の事例もふまえ、専門的に

研究を行う個別の事業として立ち上げを検討されたい。

- (3) 権限の移譲について、市民生活への影響、財政面での影響についての研究をより積極的に進められたい。

(歳出)

議会費

- (4) 議会中継のテロップ化の評価が高いというが、その期待に応える技術の改善を常に図られたい。
- (5) 高校生と議会との意見交換会の評判が良いというが、その参加者数の拡大と市外の学校に通う生徒の幅を広げられたい。

総務費

- (6) 庁内業務作業の整理を図り、ワークサポートルームの拡充に努め、知的障がい者を含めた幅広い雇用と就業機会の拡充を図られたい。
- (7) 障がい者雇用率未達成を早期に改善されたい。
- (8) 職員の外部講師を推進するとともに、適切な講師料の在り方を検討されたい。
- (9) 職員の評価に関しては、相対評価を実施する自治体での取り組みについて、その内容と効果を把握されたい。
- (10) 人事考課のフォーマットについては、現状に見合ったものであるか、見直しをされたい。
- (11) 職員表彰については、市の職員がどのような事業でどのような成果を残したのか等、市民にもより広く伝えられるものとされたい。
- (12) 管理職の再就職先については、契約に関する監査を行う際には提出を基本とされたい。
- (13) 管理職の再就職先については、個人名を隠した上での企業名の情報公開を検討されたい。
- (14) 管理職の選考試験の受験者が減少していることから、受験資格についての見直しを図られたい。
- (15) 職員・会計年度任用職員の研修を一層充実されたい。
- (16) 職員の中でメンタル疾患者の発生数値が低下をしておらず、目標値すら達成していない現状に注視し、その復帰後の就業条件の多岐化を図られたい。
- (17) 議員からのハラスメントに関しても、アンケート調査を行うなどで積極的に把握に努められたい。
- (18) 年次有給休暇取得の目標設定にあたっては、取得日数のみならず、取得率についても検討されたい。
- (19) コストが一層高くなった郵送に変わる手段をネット閲覧の方法に限らず、より、当事者本人にも通知される電子配信ツールの使用法を導入されたい。
- (20) 業務委託契約において、その品質維持に注視し、その契約がより高機能に発揮されるように努められたい。
- (21) 各部署にて行われている少額随意契約については、契約事務の考え方に関して庁内で

統一見解を持てるよう、一層の意識統一を図られたい。

- (22) 各部署にて行われている少額随意契約については、契約事務の状況を把握しやすいよう、統一した台帳で管理することができないか検討されたい。
- (23) 工事成績評価に関して、下位判定者の場合は入札条件に明確なペナルティーが課されているが、上位判定者についてもより明快な入札アップ条件の導入を図られたい。
- (24) 工事等成績評定に関しては、その苦情の申し立て先である町田市工事等成績評定苦情審査委員会において外部の有識者等を委員にする必要性はないか、検討されたい。
- (25) 広報紙の配布に関して、新聞の発行部数の減少に合わせ、拠点配布箇所の充実を図り、配布数の不足に対応した補充体制を拡充されたい。また、電子媒体（パソコン、スマホ）による閲覧利用の拡大に合わせ、より閲覧しやすい方法の充実を図られたい。
- (26) 代表電話の対応については、職員に対して敬語を使う例が見られるため、指導されたい。
- (27) 市長への手紙における生成AIの活用については、内容の公表のための分析だけでなく、市の政策立案のためにも活用されたい。
- (28) 財政調整基金の目標額は達成しているものの、26市と比較し、市民一人当たりの残高は低い。各基金に関し、常に適切な目標額を設定し、積み立てに努められたい。
- (29) 遺贈財産寄附やガバメントクラウドファンディングなど、寄附者の意向に一層寄り添った寄附の確保に努められたい。
- (30) ふるさと納税に関し、名誉市民・市民栄誉彰など市独自色や都市部の強みを活かし、一層の共感賛同に努められたい。
- (31) 町田市民のふるさと納税による寄附金税額控除額と他自治体の市民によるふるさと納税額の差の縮小に努められたい。
- (32) 債権の保有に関して、その安全性を優先する一方で、時代に即した優位な債権を保持して市民の財産を活用されたい。
- (33) 定期預金の契約に関して、手持ち資金の保有動向に注視し、より優位な金利を確保できるように努力されたい。
- (34) 公用車管理システムは、他自治体に先駆け導入したものだが、その意義を活かし、保有車両の効率的な運用を図られたい。
- (35) 低未利用地取扱のガイドラインを作成するとともに、低未利用地の売却に関して、他自治体の先進事例も調査し、写真なども活用した情報を発信し、その売却を促進されたい。
- (36) 「広域連携による行政課題の解決についての研究」に関して、「八市連携市長会議」や「絹の道都市連携」の取り組み内容をより具体化して市民や議会に報告されたい。
- (37) いじめ問題調査委員会での答申を受けての全庁的な取り組みについては、情報の共有だけでなく、相談機関の設置や対応人材の確保等を含めた、予算措置の必要な事業の導入も積極的に検討されたい。
- (38) 交通安全啓発や次世代交通安全リーダー育成に資する交通少年団との連携強化を一層図られたい。
- (39) 交通安全推進協議会のメンバーについては、毎年欠員が続いていることから、委員が

かけることがないよう対策されたい。

- (40) 町田市の年齢別人口、納税義務者数および個人市民税額と納税義務者1人あたりの個人市民税額のリストに関して、町田市の市民税の増減の動向に世代の変遷がどのように関連してくるか注意を払い、税収の確保に努められたい。
- (41) 法人市民税の未納相談に関して、相談者に対してできるだけ丁寧に対応し、納税漏れが起きないように努められたい。
- (42) 生産緑地については、その管理が不適切である場合に、どのような状況が何年続くことで課税地目の変更になるのか等、具体的な基準の必要性について検討されたい。
- (43) 非課税であると様々な公的支援を受けることが可能となるが、支援を目的とした住民票登録（悪質な外国籍の市民）がどれだけいるのか等の研究のためにデータを収集されたい。
- (44) 明るい選挙推進委員の確保に努められたい。
- (45) 児童生徒への選挙出前講座や模擬投票の機会を増やし、市外に通う児童生徒を含めた幅広い対象者に選挙の方法を説明する機会を設定されたい。

労働費

- (46) 労働関連セミナー等の参加者数は目標設定数を上回る参加者が続いており、さらに雇用につながる内容に充実を図られたい。
- (47) 町田市勤労者福祉サービスセンターの被雇用者と個人事業主の会費差を解消されたい。
- (48) 市内事業所の減少傾向の中、町田市勤労者福祉サービスセンター加入事業者も減少しているというが、市内中小企業の従事者の福祉向上のためにも、その加入事業者数の維持と新規加入者の確保を図られたい。
- (49) 町田市勤労者福祉サービスセンターについては、近隣自治体との統合や広域での連携を行う自治体の事例を研究の上、今後のあり方について検討されたい。

農林費

- (50) 七国山ファーマーズセンター事業については、老朽化もしてきており、今後の活用方針を定めて民間活力を活かした整備運営を検討されたい。

商工費

- (51) 文化交流センター稼働率向上に一層努められたい。
- (52) 町田市商店街チャレンジ戦略支援事業補助金、及び、東京都地域連携型商店街事業費補助金の使途に関して、それらの事業が商店街の発展にどのように繋がっているか不明な点があり、それらの事業の有効性の再点検を図られたい。
- (53) 民間で運営される市内コワーキングスペースに関して、町田新産業創造センターとタイアップした事業を取り組み、幅広い創業の支援を図られたい。

消防費

- (54) 在宅避難また、備えについて、市民理解が進むよう取り組み願いたい。また、あわせ

て、物資の提供が受けられる仕組みづくりを構築されたい。

- (55) 防災意識の啓発や次世代防災リーダー育成に資する消防少年団との連携を一層強化されたい。
- (56) 自主防災組織については、町内会自治会や集合住宅単位でなくとも立ち上げることができるよう引き続き検討されたい。
- (57) 親子防災の取り組みについては、子育てひろば事業との連携での実施や、取り組み開始当初の講座形式での実施も検討されたい。
- (58) 消防器具置き場の機能充実に努められたい。
- (59) 防災力向上のため消防団への理解促進を進めるとともに、団員増加にも努められたい。
- (60) 消防団の出初式については、式典や表彰に加え、災害対応訓練などの実質的な取り組みの範囲と、団員の健康管理を図られたい。
- (61) 消防団退団者を対象としたアンケートを分析し、消防団員が活動しやすい仕組みづくりに努められたい。

2025年9月19日

総務常任委員長
石川 好 忠

町田市議会議長
木目田 英 男 様

健康福祉常任委員会議案審査報告書

1. 第 79 号議案 町田市授産センター条例及び町田市大賀藕絲館条例の一部を改正する条例
1. 第 68 号議案 令和7年度（2025年度）町田市一般会計補正予算（第3号）
1. 第 69 号議案 令和7年度（2025年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）
1. 第 70 号議案 令和7年度（2025年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第1号）
1. 第 71 号議案 令和7年度（2025年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）
1. 第 74 号議案 令和7年度（2025年度）町田市病院事業会計補正予算（第2号）

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和6年度（2024年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1. 一 般 会 計

（歳出）

民生費

- （1）民生委員の欠員の充足に向けて、積極的な取り組みを推進されたい。
- （2）まちだ福祉〇ごとサポートセンターにおいて、これまで行政に関わっていなかった方にもアプローチを行い困りごと相談につなげられたい。
- （3）まちだ福祉〇ごとサポートセンターの運営においては、設置地域の人口に比例した人員増を検討されたい。

- (4) せりがや会館の閉館の予定に対し、利用団体が活動継続できるよう丁寧な対応、しっかりと相談にのっていくよう努められたい。
- (5) ヤングケアラーに関しては、関係各位と協力して対策を講じられたい。
- (6) 個別避難計画作成については、モデル地域での取り組みを検証し、より多くの方に避難後の生活までイメージできるよう、計画作成を丁寧に進められたい。
- (7) 市民後見人のさらなる育成に取り組むとともに市民後見人登録へのサポート体制の強化にも取り組まれたい。
- (8) 福祉輸送サービス事業において、ボランティアで運営していくには限界が来ていると考える。持続可能な新たなしくみについても検討されたい。
- (9) 立ち入り調査の経験、結果を活かし、研修を行うなど市内事業所全体の質の向上に努められたい。
- (10) ダリア園、リス園、大賀藕絲館、こころみ事業については、成果指標として、事業収入、入場者数、顧客満足度なども示し、利用者、お客様、観光資源としても魅力向上に努められたい。
- (11) リス園のリニューアルや施設の位置付け等のあり方の整理においては、利用者、運営法人などの要望をしっかりと聞いて対応されたい。
- (12) 採択された心身障がい者に対するタクシー運賃補助の実施を求める請願に対し、当事者、関係団体に意見を聞くなど、検討課題として取り組まれたい。
- (13) 同行援護サービスにおいては引き続き利用実態を調査の上、より利用しやすい環境を整えられるよう努められたい。
- (14) 「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」の認知度向上のため、市民へのさらなる周知とともに、障害の社会モデルを前提にした対応を全庁が率先して推進されたい。
- (15) 介護人材バンクによる就労人数は、かなり下回っている。この状況をより分析し、目標に達するよう努められたい。
介護人材において増え、活躍している外国人人材については、町田市国際交流センターや他部署などともさらに連携を深め、より充実したフォローに努められたい。
- (16) 介護人材の確保のために学生との連携強化も含めてさらなる取り組みを推進されたい。
- (17) ふれあい館の新規登録者増加のための取り組みをさらに努められたい。
- (18) 施設が老朽化していることから緊急修繕を行い、予算がかさんでいる。関係各位と協議を行い、計画的な修繕計画、長寿命化を図られたい。
- (19) 老人クラブについては、クラブ数（連合会への加盟数も含む）、人数とも年々かなりの減少傾向にある。理由などをしっかりと分析し、危機感を持って、対策を練られたい。
- (20) シルバーピアの団らん室利用については、コミュニティの場として、協力員不在時にも利用可能なこと、利用時間の変更などを周知されたい。
- (21) 高齢者あんしんキーホルダーに登録するための緊急連絡先がない高齢者に対しては、他の方法を丁寧に説明し、不安を払拭できるように努められたい。

- (22) 単身高齢者の増加が見込まれる中で様々な見守り環境を整備することは重要である。特に I C T 機器による見守りは今後も色々なものが期待されるので注視されたい。
- (23) 孤立し、生活困窮にある女性・妊婦が、相談や行政などにつながるように、保健所など他の部署、機関、団体とも連携し、より一層努められたい。
- (24) ためらわずに生活保護の相談や申請ができるよう生活保護制度の周知を広く実施されたい。
- (25) 生活保護の無料低額宿泊所利用者については、居宅への移行支援を丁寧に行われたい。
- (26) 生活保護利用者へさらなる丁寧な対応、正規職員の増員を含め、ケースワーカーの持ち件数を減らすよう努められたい。
- (27) 無料低額宿泊所の運営状況に課題があった際には、東京都、所在自治体との情報共有を強化し、施設への申し入れも含め、課題解決に努められたい。
- (28) 生活保護世帯の高校生へ直接説明をするなど、アルバイト収入の申告についてわかりやすい説明を行うことに、さらに努められたい。
- (29) 経済環境などにより、学びの格差、体験格差を、まこちゃん教室を活用するなど、格差をなくすよう努められたい。

衛生費

- (30) 休日・準夜急患子どもクリニックにおいては、けがなどの受け入れができるよう検討されたい。
- (31) ゲートキーパー養成講座の受講者がその後も活躍できるよう、アフターフォローも検討されたい。
- (32) 自殺対策については、すでに行っている事業をさらに充実させるとともに新たな取り組みも検討されたい。
- (33) 肝炎ウイルス検診の効果と費用については広く周知されたい。
- (34) がん予防対策事業においては、学園祭など出店するなど大学連携を活用し、若年層への啓発に努められたい。
- (35) 子宮頸がん検診の受診率向上に向けては、若い世代へのアプローチを引き続き検討されたい。
- (36) プレコンセプションケアについては、若年層への普及啓発が重要であることから、学校との連携も検討されたい。
- (37) 外国語の母子手帳を希望する方には、適切な情報提供、通訳など、他部署と連携しながら、サポート体制のさらなる拡充を図られたい。
- (38) 支援に必要な妊婦へ児童福祉部門と母子保健部門の両課で一体的な支援を図り、出産・子育て応援交付金事業による伴走型相談支援、経済的支援をより活用するなど、妊娠期から引き続き切れ目のない支援を行われたい。また、行政につながっていない孤立した妊婦へのアプローチを今すぐ検討し、支援につなげられたい。
- (39) 母子保健事業において、父親も育児の当事者として自覚を促すよう、父親のニーズをもとに、発信や他部署との連携をさらに強化されたい。

- (40) 母子健診・母子歯科健診・母子健康相談事業においては、保育サービスを行うなど利用しやすい環境を整えるよう努められたい。
- (41) 時間外勤務状況を充分考慮し、適切な職員配置等業務改善について検討されたい。
- (42) 男性向けHPVワクチン任意予防接種事業については、国の定期接種化に向けた動きに注視し、学校での教育等についても研究されたい。
- (43) 産後ケア事業においては、経産婦が利用しやすい環境整備に努められたい。(きょうだい児の預入先等)
- (44) 母子健康相談指導事業において、プレママパパクラスの開催は、Aコースにおいても男性の参加率向上を目指し、土日開催やオンライン等も検討されたい。
- (45) 動物愛護のボランティア団体に対して、さらなる支援の充実に努められたい。
- (46) 動物との共生については、それぞれの事業をワンヘルスに結びつけ、包括的に推進されたい。
- (47) ペットの熱中症予防の啓発について、飼い主に情報がいきわたるよう、さらなる周知に努められたい。

2. 特 別 会 計

国民健康保険事業会計

- (48) 適正な保険診療が行われるよう努められたい。

介護保険事業会計

- (49) 介護予防の取り組みについては新規自主グループの立ち上げ支援を含めて、さらなる取り組みを推進されたい。
- (50) 町トレについては、「介護予防の場」から地域のつながりや見守り機能が発生している。しかし休止しているグループも一定数あることから、持続的に発展する仕組みを検討されたい。
- (51) 認知症家族介護者支援については家族介護者の意見を踏まえながら新たな取り組みの構築に向けて検討されたい。
- (52) 近年では「一人暮らしの高齢者の増加」や「介護者の高齢化」などが急速に進み、在宅サービスに求められるニーズが多様化していることなどで、介護サービスの利用にも影響が出ている。介護給付費の推移においても、医療系サービスの利用が高い傾向が見られ、2024年度の介護サービスに関わる総給付費も339.2億円となり、前年度から14.9億円増加している。
今後は、在宅医療・介護連携機能強化型地域包括支援センター、町田安心して暮らせるプロジェクトなどもさらに活かし、社会情勢や将来推計も踏まえ、在宅生活および施設の需要をしっかりと見極めながら、個々の状況に応じた、本人の望む介護サービスを受けられるよう、在宅と施設の支援をバランスよく組み合わせることができ環境を一層整えられたい。

(53) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）については、市のホームページ等を活用し幅広い市民への普及・啓発にも努められたい。

国民健康保険事業会計 後期高齢者医療事業会計

(54) 葬祭費に関しては、受給率を把握するなどを行い、より多くの方に受け取っていただけるよう努められたい。

国民健康保険事業会計 介護保険事業会計 後期高齢者医療事業会計

(55) 国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料滞納者に対しては丁寧な分納相談、他部署と連携して生活再建の支援につなげるよう努められたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳入)

(56) 収入未済に関しては、他部署の取り組みを参考にするなどし、不納欠損にならないよう努められたい。

(歳出)

民生費

(57) 重大な事案が発生した場合は議会に報告されたい。

2. 特 別 会 計

国民健康保険事業会計

(58) 一般会計からの赤字補填額は、2023年度と比較すると1.5億円減少したものの、財政改革計画における2024年度の目標に0.9億円届かなかった。引き続きインセンティブ交付金の獲得、医療費の適正化や保険税率改定により、赤字額を計画的、段階的に削減されたい。

介護保険事業会計

(59) 重要な案件が発生した場合は議会に報告されたい。

1. 認定第 3 号 令和6年度（2024年度）町田市病院事業会計決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

- (1) 経営状況が大変厳しくなっているため、国や東京都への財政支援などの要望に加えて、救急患者の受け入れ強化や診療科による地域医療機関への訪問強化を図るなど、収支改善に努められたい。
- (2) 町田市民病院は、I C U、H C Uなど高度急性期病棟、N I C Uなどの地域周産期母子医療センター、そして小児病棟を有しており、いずれも市内で唯一の施設である。町田市民だけでなく、南多摩医療圏の中で重要な役割を果たすべく、地域の医療機関や救急隊、関連する施設の方々と協力しながら、救急、周産期、小児などの医療を安定的に提供できる環境づくりに一層取り組まれたい。
- (3) 緩和ケア病棟においては、スムーズな受入れが行えるよう、関係機関との連携を強化されたい。
- (4) 適正な予算執行のために不用額をしっかりと把握し、早期に補正予算を組むように努められたい。
- (5) 看護師の人材確保・定着・離職防止の取り組みをさらに充実されたい。
- (6) 無痛分娩が再開できるよう、引き続き努力されたい。
- (7) 小児入院病床については、一般病棟での対応にとどまらず、増床についても検討されたい。
- (8) 脳神経内科など、入院（手術）できない診療科がないよう、引き続き医師の確保に努められたい。
- (9) 経営改善に向け、委託の見直しを検討されたい。
- (10) 救急医療は重要な取り組みとして、指標及び目標値を設定し、計画を強化されたい。
- (11) 院内保育室に関しては、入院患者の面会者用の保育を行うよう努められたい。
- (12) 周産期医療センターにおいては、市民が安心して出産できるよう、より高度な医療が受けられるよう努められたい。

2025年9月19日

健康福祉常任委員長
松 岡 みゆき

町田市議会議長
木目田 英男 様

健康福祉常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 20 号 町田市高齢者ホーム出張調髪利用券の発行継続に関する請願
請願者 町田市南大谷 3-36-31 中島ビル 103
藤井良紀 外 1, 190 人

本委員会は、9月8日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

2025年9月19日

健康福祉常任委員長
松岡みゆき

町田市議会議長
木目田英男様

文教社会常任委員会議案審査報告書

1. 第 78 号議案 町田市スポーツ施設条例の一部を改正する条例
1. 第 80 号議案 町田市子ども発達センター条例の一部を改正する条例
1. 第 83 号議案 町田市立学校の学校給食費に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 89 号議案 成瀬子どもクラブの指定管理者の指定について
1. 第 90 号議案 小山ヶ丘学童保育クラブの指定管理者の指定について
1. 第 91 号議案 みわっこ学童保育クラブの指定管理者の指定について
1. 第 92 号議案 どんろん子学童保育クラブ外2施設の指定管理者の指定について
1. 第 93 号議案 小小学童保育クラブ外1施設の指定管理者の指定について
1. 第 94 号議案 南第一さくら学童保育クラブの指定管理者の指定について
1. 第 95 号議案 金森学童保育クラブ外2施設の指定管理者の指定について
1. 第 99 号議案 木曽中学校後付けエレベーター設置工事請負契約
1. 第 68 号議案 令和7年度（2025年度）町田市一般会計補正予算（第3号）

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和6年度（2024年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳入）

- （1）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について、保護者負担額軽減のため、教材費等にも使用できるよう、国に申請されたい。

(歳出)

総務費

- (2) コミュニティセンター事業において、近隣の保育園や小学校など普段センターを利用されない方々へのPRを行い、施設利用率の向上に努められたい。
- (3) 多摩26市の町内会・自治会を担当する職員の交流会を引き続き開催し交流されたい。
- (4) 「公有財産（普通財産）の未使用地の状況」について、23年度と比べ、今後の計画が8件中3件具体的に進展した。庁内の各部との連携を取り速やかな推進を図られたい。
- (5) 地域コミュニティ強化のため、新たなあり方やあらゆる方法の検討に努められたい。
- (6) 男女平等や性の多様性の理解を推進するため、さらに魅力ある講座やフェスティバルになるよう努められたい。
- (7) カスタマーハラスメントから職員を守る対応や環境づくりにさらに取り組まれたい。
- (8) 市民センター施設利用率向上のため、市内全域においても親しみやすい「だれでもピアノ」の実施に取り組まれたい。

民生費

- (9) マル乳、マル子、マル青の対象者が、都外で受診した場合の医療助成費支給のオンライン申請を検討されたい。
- (10) 「とうきょう すくわくプログラム」推進事業については、積極的に活用を行い子どもたちの非認知能力向上への支援に努められたい。
- (11) 園と園医の意見交換会は、保育現場における児童の健康管理に資する事業であり、継続されたい。
- (12) 保育の現場における不適切保育に対しては、関係機関と情報共有を行い、安全安心の保育環境づくりに努められたい。
- (13) 保育士確保について、有資格者の低就労や低所得対策など、関係団体を含めたプロジェクトチームとより連携を図り、市としての処遇改善も含め、抜本的な方策を講じられたい。
- (14) 病児・病後児保育の保育ニーズの増加に応えるため、施設整備の拡充に努められたい。
- (15) 公立保育園については、施設維持管理のため、保守点検・中規模修繕を行い、保育環境整備に努められたい。
- (16) まこちゃん教室について、希望する子どもが受講できるように定員の増加を検討されたい。
- (17) 各子ども食堂に支給する補助金は、申請に応じた金額を継続されたい。また支給時期を早めるよう努められたい。
- (18) ひとり親家庭応援事業のひとり親家庭高等職業訓練促進給付金について、より周知を徹底し、ひとり親の就労支援を行われたい。
- (19) 自然休暇村の成果指標については、事業収益増につながるような設定にされたい。
- (20) 自然休暇村の運営において、市民・村民がより身近になるようなPRに努められたい。
- (21) 「まちだ若者大作戦」の取組としては、子どもの参画を推進するため細やかな対応と充実を図り引き続き検討されたい。

- (22) 学童保育クラブ事業において、育成スペース確保のため、保育ニーズの充実を鑑み、学校施設利用の拡充に努められたい。
- (23) 学校再編計画による学童保育クラブへの周知について、学校教育部と連携強化し、速やかに周知出来る体制を取られたい。
- (24) 学童保育クラブの大規模化、長期休業中の長時間労働に対応する支援員確保を指定管理者が行えるよう、給与基準や処遇改善に努められたい。
- (25) 放課後子ども教室まちとも推進事業は、持続可能な運営のために人員確保に努められたい。
- (26) 鶴川第三小学校と鶴川第四小学校の統合に伴う「まちとも」の引継ぎや学童保育クラブ移転については、地域はもちろん、利用者である子どもたちに影響がでないよう進められたい。
- (27) まちとも事業においては、児童の活動が安全安心に行えるよう、熱中症対策に努められたい。
- (28) 冒険遊び場活動補助金について、物価高騰や人件費増などの社会状況を考慮し、補助金の金額について各運営団体と協議し対応されたい。
- (29) 子どもセンター及びセンター施設長会議やまちとも運営協議会の情報交換会は引き続き開催し、子どもにとって安心安全で利便性の高い居場所づくりに取り組まれたい。
- (30) (仮称)金井・薬師子どもクラブについては、地域への丁寧な説明を行い、整備に向けて取り組まれたい。
- (31) 大地沢自然交流サイトにおいては、利用者獲得に向け周辺施設等との連携を図り、施設修繕強化に努められたい。

商工費

- (32) 消費者被害防止のため、日進月歩で変わりゆく消費者課題に素早く取り組み、さらなる情報提供の強化に努められたい。

教育費

- (33) 教材費の購入に関しては、極力、市内事業者の選定をされたい。
- (34) 校長会からの要望について、予算化に努められたい。
- (35) 小学校、中学校における複写機の設置については、校長会からの要望や学校の児童生徒数に応じて、柔軟に増設を検討されたい。
- (36) スクールロイヤールの利用状況の「保護者・地域からの要求」について、年度毎に要求件数の変動がある。複雑化になれば利用状況は増える。複雑化する前に関係者との初期対応をスピーディーに取り図られたい。
- (37) 廃校予定の校舎の除却の有無については、地域・民間等の意向を踏まえて決定されたい。
- (38) プール整備方針について、学校再編による説明と連動して周知徹底されたい。
- (39) 中学校通学費補助事業については、利用者の実態調査を行い、制度の利便性向上に努められたい。

- (40) 通学路の安全対策推進のため、実態調査を行い、地域ごとの実状に応じた安全対策を講じられたい。
- (41) 就学事務や就学援助事務については、電子申請の対象拡大などの情報の周知を市民に丁寧に行われたい。
- (42) 学校給食事業において、食育推進の観点から、地場産品の積極的な活用を図られたい。
- (43) さらなる教員の事務負担軽減を進め、相談時間や個別学習サポート、地域や保護者への説明など、教育の質の向上を図られたい。
- (44) 「タブレット端末やドリルソフトを使った学習が児童・生徒に浸透してきている」とのことについて、読み書き障がい（ディスレクシア）の児童・生徒は、漢字練習や音読など読めないし、書けない。指での書き込みは反応が悪いと言われている。そうした子にとってはさらに苦痛である。サポートルームに入るまでの時間は放置状態とも。ゆえに有効な対策を取られたい。
- (45) 「端末を授業活用できる児童の割合」について、活用状況の差が能力や自信の差に繋がるので、活用できない児童については置いていかれない対策をより丁寧に対応されたい。
- (46) タブレットの持ち帰りについて、学校サイドの判断だが、タブレット端末による教育指導をしている背景を踏まえれば、児童・生徒の学力に差が出ないよう配慮されたい。
- (47) タブレットの持ち帰りについて、重い荷物を持つことによる心身への負担や学力などへの影響を研究されたい。
- (48) hyper-QUの活用においては、小学校5年生・中学校2年生だけに留まらず幅広い学年で行い、要支援児童・生徒等への対応に活用を行いやすい仕組みを検討されたい。
- (49) 学校図書館のボランティア支援員について、支援員の勤務状況を把握し、図書館司書の配置も含めて環境改善を図られたい。
- (50) 「特別支援学級教員向け版特別支援教育ハンドブック」について、普通級の担任にも指導力、専門性の向上など支援力をつけてもらう必要があるため、幅広い活用をされたい。
- (51) 特別支援教育支援員のさらなる増員を検討されたい。
- (52) 教育支援センター事業「けやき教室」「くすのき教室」の開設日時の拡大や時間割・活動内容の改善は、利用者の声を反映し、講じられたい。
- (53) 不登校児童生徒の保護者の会「保護者の集い」については、引き続き、定期開催を行い、保護者の声を市の不登校施策につなげられたい。
- (54) 不登校児童生徒の学びの保障のため、児童生徒と保護者に向けた「フリースクール説明会」は引き続き、開催されたい。
- (55) 学びの多様化学校分教室「ゆめのき」での不登校児童生徒の利用状況やニーズを把握し、学びの多様化学校の開設に向け、準備を進められたい。
- (56) 不登校児童の学びの場として、学びの多様化を目的に児童のニーズに応えられるような仕組みを検討されたい。
- (57) 外国籍児童生徒に対する日本語指導・教育について、教員の労力低減も踏まえ、より充実した環境整備及び相談窓口の明確化をされたい。

- (58) 新たな学校づくりを踏まえた「これからの学校を考える授業」は、子どもたちが意見を出しやすい授業に努められたい。
- (59) 学校再編や中学校給食センター整備におけるPFI手法導入実績について、市内事業者の参入等の課題について、検証を行い全庁的な情報共有をされたい。
- (60) 新たな学校づくり推進計画について、今後も人口統計及び財政状況を柔軟に加味し、定期的な見直しを検討されたい。
- (61) 相模原市との連携講座「まちの歴史、さがしてみました～まちさが考古学講座～」は引き続き継続されたい。
- (62) 「外壁や屋上ガラスの破損に対応するための修繕を実施」について、考古資料室等は文化財収蔵品を始め多くの市財産を管理する場所である。きめ細かい管理を徹底されたい。
- (63) (仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画の策定については、幅広い市民の団体からの意見が反映でき、サポートができるように努められたい。
- (64) 鶴川緑の交流館事業の利用者数向上に向けた取組としてカフェとのコラボ事業は、引き続き、積極的に行われたい。
- (65) (仮称) 国際工芸美術館整備事業のCM(コンストラクションマネジメント)について、今後の公共工事を行う上での手法として採用効果・検証を行い全庁的に役立たれたい。
- (66) 町田市史の再編さんについて、事業展開できるよう、再編さんに向けたスケジュール計画と体制づくりを構築されたい。
- (67) 障がい者青年学級参加希望者が参加できるように、ボランティアスタッフの確保にさらに努められたい。
- (68) 町田市生涯学習センター運営見直し実行計画を進めるにあたり、障がい者青年学級及び市民大学の利用者の活動に影響がないよう、各団体や利用者との協議をさらに進められたい。
- (69) 図書館の開館時間・休館日については、市民が利用しやすくなるよう引き続き検討されたい。
- (70) 若者から提案されたイベントの実現に向け、図書館プランナーである若者ボランティアの意見を活かし、親しみやすいイベントのサポートに努められたい。
- (71) 他市の状況を鑑み、図書購入費を検討されたい。
- (72) 国際版画美術館の企画展をさらに魅力あるものにするために、専門性ある学芸員を継続して配置されたい。
- (73) 全国大会等に出場する選手達の励みになるような支援を充実されたい。
- (74) 週1回以上スポーツをする指標については、市民の健康に寄与する運動も入れるなど、幅広く定義されたい。
- (75) 庁内が連携してホームタウンチームを支援できるように会議体の設置を検討されたい。
- (76) FC町田ゼルビアの支援政策について、経済観光部との政策連携・協議をより強化し、経済効果を上げる施策を講じられたい。
- (77) 地域住民や子どもが気軽に使うために、学校施設は無料での貸し出しを継続されたい。

- (78) 市民の「する」スポーツにおける安全・安心の施設利用のため、適切な施設修繕を講じられたい。
- (79) スポーツ広場事業においては、「する」スポーツの環境整備として、トイレの整備や熱中症対策を講じられたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

教育費

- (80) 国際工芸美術館整備にあたっては、仮契約解除になった要因を明らかにされたい。

2025年9月17日

文教社会常任委員長
佐々木 智 子

町田市議会議長
木目田 英 男 様

文教社会常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 16 号 旧本町田小跡地（現ひなた小）にある「希望の森」を生かすことを求める請願

請願者 町田市中町 2－18－10

木 原 信 義 外 1 人

本委員会は、9月8日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 請願第 19 号 2025年度に行う鶴川第三小学校の外壁補修工事の実施後に統合を行うことを求める請願

請願者 町田市広袴 2－14－56

高 柳 真希子 外 1 人

本委員会は、9月8日付託された上記請願審査の結果、「不採択すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

2025年9月17日

文教社会常任委員長
佐々木 智 子

町田市議会議長
木 目 田 英 男 様

文教社会常任委員会継続審査申出書

本委員会は、会議規則第111条の規定により下記のとおり閉会中もなお継続審査を要するものと決定しましたので申し出ます。

記

1. 請願第15号 一人一人の子どもの命を大切に通学の安全な体制を求める請願

理由 なお調査を要するため。

2025年9月17日

文教社会常任委員長
佐々木 智 子

町田市議会議長
木目田 英 男 様

建設常任委員会議案審査報告書

1. 第 87 号議案 市道路線の認定について
1. 第 88 号議案 市道路線の廃止について
1. 第 68 号議案 令和7年度（2025年度）町田市一般会計補正予算（第3号）
1. 第 72 号議案 令和7年度（2025年度）町田市鶴川駅南土地地区画整理事業会計補正予算（第1号）
1. 第 73 号議案 令和7年度（2025年度）町田市下水道事業会計補正予算（第1号）

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和6年度（2024年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳出）

衛生費

- （1）指定喫煙所について、新たな受動喫煙対策の具現化を急がれたい。
- （2）駅周辺でのポイ捨てごみ収集員（シルバー人材センター委託）の夏場の業務にあたっては、熱中症対策を講じられたい。
- （3）駅周辺でのポイ捨てごみ削減のために、コンビニエンスストアへの協力を要請されたい。
- （4）大型生ごみ処理機の貸し出し事業については、利用団体の意向を踏まえて継続されたい。
- （5）剪定枝資源化センターについては、利用状況の減少、運営費の上昇、設備の老朽化の状況などを踏まえ、そのあり方を含めた今後の抜本的な見直しをされたい。

- (6) 剪定枝資源化センター事業について、利用者のニーズに沿った事業運営に努められたい。
- (7) リチウムイオン電池の混入防止に向け、啓発活動に加え選別方法の探求と、回収方法の充実を推進されたい。
- (8) ごみの不法投棄の撲滅に向け、さらなる対策に努められたい。
- (9) 集積所での資源ごみ回収において、掲示板の多言語化やピクトグラム活用で、誰でも分かる表示を検討されたい。

土木費

- (10) 自然災害に備えた道路部職員による研修会を継続し、充実されたい。
- (11) 道路に関する通報も増えており、予防保全を組み入れた効率的、効果的な維持補修と事後保全のバランスを考慮しつつ、必要なリソース、予算を確保されたい。
- (12) 放置自転車の減少を踏まえ、放置自転車等対策業務委託が現状の費用対効果に見合っているか再評価し、今後のあり方について見直しをされたい。
- (13) 町田市街路樹更新計画推進にあたっては、地域住民への周知と協議を重視されたい。
- (14) 駅周辺や商店街のインターロッキング仕様の歩道の安全性や美観の確保のため、適切な補修と整備をされたい。
- (15) まちだベジハブを持続可能な取組にするために、農業振興課や関係団体と有効な意見交換を行われたい。
- (16) 相原駅東口まちづくりについては、民間資本の導入等を含め様々な手法を検討し、民間の土地と駅前交通広場等の公共施設の土地利用が一体的に図れるよう、連携して進めていただきたい。
- (17) 鶴間公園をはじめ、地域の賑わいを創出する公園については、成果指標として有料施設利用者数に加え、子育て世代の人口増などを追加する検討をされたい。
- (18) 公園緑地の管理箇所、管理面積の増加に際し、気持ちの良い状態を維持するべく管理強化に努められたい。
- (19) キッチンカー出店実証実験は、実証実験の結果を鑑み、今後は出店者・利用者の満足度をさらに高められるよう、継続事業として事業の質の向上に努められたい。
- (20) 薬師池四季彩の杜事業について、西園の飲食店や物販の売上、市民参加型イベントの検証を行い、より多くの人に利用される施設となるよう指定管理者との協議を行われたい。
- (21) 野津田公園事業について、有料施設以外の利用状況を把握し公園運営や整備に活かされたい。
- (22) 野津田公園のスケートパーク整備と南口バス転回場整備については、近隣住民や公園利用者への説明を重視されたい。
- (23) 路線バスの安定運行と住民要望に応えた新規路線検討のために、運転手確保等の方策についてバス事業者と協議されたい。
- (24) 支え合い交通は、公共交通を補完する重要な役割があり、これから取り組もうとしている団体もあるので、サポートをしながら増やしていけるよう努められたい。

- (25) 支え合い交通の人件費の負担に関して、団体と話し合いながら、よりよい方向性になるよう検討されたい。
- (26) 市民バス、コミュニティバスの運行にあたっては、地域ニーズに沿った利便性向上とともに、利用する目的を創り出す取組も充実されたい。
- (27) まちっこについては、公共施設巡回ルート、相原ルートともに受益者負担比率が昨年比では上昇しているものの低水準にあるので、利用者増につながる対応策を講じられたい。
- (28) 道路拡幅事業において、地権者との関係性を構築し、より丁寧な用地取得の交渉を行われたい。
- (29) みちづくり・まちづくりパートナー事業（都計道３・４・１１号（原町田））にあたっては、地権者や借家権者に寄り添った対応をされたい。
- (30) 有効な空き家対策を実施するため、引き続き予防対策と迅速な対処に努められたい。

１．認定第 ２ 号 令和６年度（２０２４年度）町田市下水道事業会計決算認定について

本委員会は、９月８日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

- (１) 昨今の物価高騰・労務単価の上昇、そして老朽化の状況を精査し、効率化・経費削減などの不断の経営努力を行うことで、市民の負担が増加しないよう努められたい。

２０２５年９月１７日

建設常任委員長
森 本 せいや

町田市議会議長
木 目 田 英 男 様

建設常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 18 号 芹ヶ谷公園町田荘跡地擁壁整備工事の着工を延期することを求める請願

請願者 町田市高ヶ坂二丁目23番10号
清 家 亮 三

本委員会は、9月8日付託された上記請願審査の結果、「不採択すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

2025年9月17日

建設常任委員長
森 本 せいや

町田市議会議長
木 目 田 英 男 様